

令和7年度 学校評価アンケート結果（保護者）

愛媛県立みなら特別支援学校 学校評価委員会

No	領域	項目	評 価 項 目	小学部	中学部	高等部	R7全体	R6全体
1	学習指導	授業づくり・教材・教具の充実	教員は、電子黒板やタブレット端末等のＩＣＴ機器を効果的に活用して、視覚的に分かりやすい授業を行っている。	4.6	4.5	4.3	4.4	4.4
2		各教科等を合わせた指導の充実	教員は、児童生徒の生活に結び付いた体験的な活動を取り入れ、「できた。」と感ずることができる、魅力ある授業づくりを行っている。	4.8	4.5	4.3	4.5	4.4
3	児童生徒指導	基本的な生活習慣の確立	教員は、保護者や他の教員と連携・協力して、児童生徒の発達段階や障がいのある状態に応じた基本的な生活習慣（挨拶、身だしなみ、言葉遣い等）について支援している。	4.8	4.5	4.4	4.6	4.4
4		学校生活の充実	教員は、児童生徒の具体的な目標を明確にし、集団構成や活動の場を工夫するとともに、各種行事等の事前・事後指導の充実に努め、達成感を得られるように配慮している。	4.8	4.6	4.4	4.6	4.5
5	進路指導	進路指導の充実	教員は、面談や連絡帳でのやり取り等の中で児童生徒の卒業後の将来の姿や自立へ向けた生活設計を共有し、進路実現に向けて必要な力を養うとともに、保護者と相談し、進路に関する情報の提供や提案をしている。	4.4	4.3	4.2	4.3	4.2
6		キャリア教育の推進	教員は、児童生徒が自分の役割を果たすために適切な支援をしたり、職業的・社会的自立に必要な力の育成や、働くことの大切さ、興味・関心の拡大を促したりしている。	4.5	4.4	4.3	4.4	4.3
7	安全教育	学校安全教育の充実	教員は、防災学習や不審者対応教室などを通して、児童生徒が、災害や事故から自分の命を守る手段や方法を具体的に教え、もしものときに自ら考えて行動をする態度を育成している。	4.6	4.5	4.3	4.5	4.3
8		安全な教育環境の整備	教員は、児童生徒が安全かつ安心して学習活動に取り組める教育環境の整備や、緊急時等における適切な対応に努めている。	4.7	4.6	4.3	4.5	4.4
9	教育相談体制	人権・同和教育の充実	教員は、人権を尊重して児童生徒に接しており、様々な方法で児童生徒のわずかな変化やサインをキャッチして、適切に対応している。	4.7	4.5	4.3	4.5	4.3
10			教員は、児童生徒や保護者が悩みや不安を打ち明けやすいような雰囲気づくりをしており、チームで協力して人権意識の向上に取り組んでいる。	4.7	4.5	4.3	4.5	4.3
11		個別的教育支援計画の活用	担任は「個別的教育支援計画」を活用しながら、児童生徒の支援目標や支援の手立てについて、懇談や支援会議で分かりやすく説明や話し合いを行っている。	4.8	4.5	4.3	4.5	4.5
12		センター的機能の充実	担任や特別支援教育コーディネーター等は、お子様の生活や学習などについて相談しやすい。	4.7	4.4	4.2	4.4	4.4
13	業務改善	職場環境の整備と適切な勤務時間	学校は、緊急時の連絡等にＩＣＴを活用したり、学校閉庁日の設定等を学校ホームページ等で周知したりして、働き方改革に努めている。	4.6	4.4	4.3	4.5	4.4
14			教員間や家庭・関係機関との間で情報共有がなされており、組織的に支援に取り組んでいる。	4.7	4.4	4.2	4.4	

令和7年度 保護者アンケート結果

